



【初級陸曹特技課程「准看護師」行進訓練等】

令和2年6月19日

自衛隊札幌病院 准看護学院（学院長：高橋 1 佐）は、6月19日（金）初級陸曹特技課程「准看護師」の第44期及び第45期学生53名（履修前教育として参加中の北部方面衛生隊所属隊員1名を含む。）に対して、行進能力、気力・体力の向上等を図るとともに、練度の向上を目的として小銃分隊の攻撃訓練を実施した。

本訓練は、19日0500の非常呼集から開始し、同日0730、北海道大演習場島松地区きつね台東側を出発し、約26km先の同真駒内射場地区すすき台を目標として行進を開始した。

行進間各学生は、分隊指揮及び対敵行動をとりながら行進し、開かつ地・橋・道路などの各種地形に応じた通過要領、航空攻撃等の対処行動を演練し、同日1530無事に行進目標に到達し、引き続いて、すすき台北側の敵に対して小銃分隊による攻撃を行い攻撃目標を奪取した。一人の脱落者もなく本訓練を無事に終了することができた。

視察した大鹿病院長は、「今、目の前のことを頑張り切ることが大事である。」と訓示し訓練に参加した学生の労をねぎらうとともに、激励した。

なお、第44期学生は、本訓練で得た自信と教訓を胸に、第1陸曹教育隊（6月30日から9月18日まで）及び女性自衛官教育隊（7月7日から9月29日まで）にそれぞれ入校する。



行進訓練



担架搬送（45期）



控え銃での駆け足訓練（第44期）



病院長訓示



ほふく前進（第44期）



小銃分隊による攻撃訓練（第44期）